

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済 未	2月 日

学校名 岐阜県立大垣特別支援学校

校長 中村政年

所在地 大垣市西大外羽1丁目227番地1

電話 0584-89-4816

1 会議の名称

岐阜県立大垣特別支援学校 学校評議員会（平成27年度 第2回）

2 会議の構成

学校評議員（敬称略）

藤 墳 恒 生	フジトモ建設株式会社	※都合により欠席
野 崎 重 光	日新地区センター館長	
山 田 毅 彦	大垣市立柿の木荘所長	
橋 本 聖 子	西濃圏域障がい者生活支援センター相談支援専門員	
堀 保	大垣公共職業安定所統括職業指導官	

学校職員・保護者

中 村 政 年	校長
大 橋 秀 子	事務部長
多和田 浩 一	教頭
林 正 治	教頭
吉 田 洋 子	小学部主事
福 井 美 子	中学部主事
伊 藤 信 弘	高等部主事（普通コース）
和 田 喜 孝	高等部主事（職業コース）
澤 田 秀 俊	教務主任
一 柳 聡 子	P T A会長

3 会議の目的

- 学校運営等について地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催

日 時：平成27年2月12日（金）13時30分～14時45分

場 所：北校舎会議室

出席者：学校評議員4名 学校関係者10名

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶

(2) 授業参観

高等部職業コース（作業学習）

(3) 議案

- ・授業の感想
- ・高等部3年生進路内定状況
- ・公費・私費負担区分等ガイドラインについて
- ・質疑
- ・連絡

(以下に会議での主な意見を記載します)

意見 1	作業学習の技術は素晴らしい。特に、フロアメンテナンスの生徒の皆さんに清掃をお願いしたいくらいである。教職員の苦労に敬意を表する。
意見 2	<p>〔質問 1〕 作業学習の班編成と、学級編成との関係について (回答) 年齢進行に伴う学年・学級編成に対して、作業学習では学年枠を外し、高等部を縦割りにして編成している。作業種の選択については、1年生は10月までにすべての作業種を体験し、その後本人の希望や保護者の意見を参考にして、適材適所で決めている。</p> <p>〔質問 2〕 教育活動の中における作業学習の時間的割合について (回答) 教育活動全体の中で、3.5～4割程度を占めている。</p> <p>〔質問 3〕 教職員の生徒への呼びかけ方について (回答) 全校で「〇〇さん」で統一している。特に、年齢に応じた話し方や、授業と休み時間との切り替え(メリハリ)を意識している。</p> <p>〔質問 4〕 作業技術の向上の他に、人間関係(コミュニケーション)について (回答) 卒業後の離職の理由には、コミュニケーション力の不足による対人関係のトラブルがあげられる。当校では、特別活動(部活動も含む)を重視したり校外学習を多く実施したりして、経験の中からコミュニケーション力を高められるよう取り組んでいる。また、「報告・連絡・相談」を基本に、自己表現力の向上にもつなげている。卒業後を見据えて「働く人になろう」をスローガンに、本日も生徒自らが作業の説明をしたのもコミュニケーション力を育てる一つの取組である。そして、参観者の方々からのご質問に対する挨拶や場に応じた言動も指導支援の貴重な機会である。</p>
意見 3	<p>参観者への挨拶や、ユーモアを交えた説明など、自分たちが作ったものに自信をもっていることを感じた。そして、気持ちよく参観することができた。</p> <p>地域の行事に参加し販売活動を行っていて、地域の方々の理解・協力を得ていると感じた。また、専門技術を有する職員の存在も大きい。</p>
意見 4	参観では、教室に入るとすぐに挨拶をする生徒が多く感心し感動した。作業の説明もわかりやすく、日頃の積み重ねの賜物であると感じた。
意見 5	<p>〔質問 5〕 1年生の作業班(11月以降)の決め方について (回答) 生徒に第1希望から第4希望までの希望調査をして、保護者の意見を聞き面談をして決定する。その際には、生徒の興味・関心や性格等を考慮して、適性を重視している。</p>

6 会議のまとめ

- (1) 北校舎高等部職業コースの「作業学習」の授業を参観していただいた。各作業班ごとに生徒が作業内容について説明をして、担当職員や部主事が補足説明を行った。その中で、従来の木工や縫製等に加え、クリーニングやフロアメンテナンス、高等特別支援学校化に向けて考えている介護等、卒業後の就労に直結する作業種についても説明を加えた。
- (2) 参観していただいた感想と合わせて、作業内容や生徒の様子等についてご意見を伺った。
- (3) 高等部3年生の進路状況について、普通コース・職業コースそれぞれの現段階での状況を各部主事が報告した。ほぼ内定しており、未定者についても決まりつつある状況を説明した。
- (4) 公費・私費負担区分ガイドラインの説明と、それを受けて当校の平成26年度収支決算等の会計関係を事務部長が報告した。

授業や学校運営等について、評議員の皆様から頂戴したご意見は、当校の取組を概ね肯定的にとらえて、評価していただいたものが多かった。しかし、卒業後の就労に向けて付けなければならない力の育成と作業学習のあり方においては、課題もあり検討する必要があると感じた。

この貴重なご意見・ご提言については、十分検討し、今後の学校運営に活かしていきたい。